

「地域の河川緊急改善事業」の効果

—— 創意工夫に富んだきめ細やかな対策で安全度を向上 ——

事業目的と概要

平成23年台風災害を踏まえて、地域が直面する治水上の課題やニーズに対応して、集落地先の安全性を速やかに確保するため、防水壁による局所的な越水対策等、現地の状況に合わせて創意工夫したきめ細やかな対策を行います。

	項目	整備内容
抜本改修を行うまでの上下流バランスに配慮した暫定対策	①局所的な越水対策	既設護岸の嵩上げ、防水壁の設置
	②部分的ネック箇所の修正	屈曲部の法線是正、狭窄部での暫定的な河積拡大等
	③河道内樹木等の伐採	洪水の流下を阻害する河道内樹木、河畔林の伐採
災害予防に効果的な施設修繕等	④既設護岸等の補強対策	護岸の根継、根固工、帯工、護岸背後の空洞充填等
	⑤みお筋の付け替え	土砂除去と水制工の組合せにより、川の流れの力を利用して土砂を溜まりにくくする等の工夫

今年度 事業箇所

平成25年度は、153箇所実施予定。（平成23、24年度の実施箇所は187箇所）

①局所的な越水対策(防水壁や護岸嵩上)



防水壁を設置しました。



護岸を嵩上げしました。



②局所的なネック部対策(狭窄部の暫定拡幅)



部分的に狭いところを拡げました。



③河道内樹木等の伐採



河川内の樹木をとって流れやすくしました。



④既存護岸の補強(根継・根固、空洞充填)



河床の低下で護岸が危険な状態でした。



⑤みお筋の付け替え等



護岸に悪影響を与えないように流れを整えました。



整備後の地元の声

多くの箇所で、「少しの工事だが、緊急に対応してくれたのでありがたい。」「心配が解消され、今年の台風でも安心できた。」などの声が地元から寄せられています。

【具体的な地元の声】

- ①台風や豪雨の度に道路が水没していたが、護岸の嵩上げして避難路が確保できたので、安心。
- ②狭窄部がなくなり、川の流れが良くなった。
- ③河川の水位が上がると、樹木があって不安だったが、伐採されたので安心した。
- ④河床が低下して護岸が崩れそうで心配だったが、早急に対応してもらって安心出来た。